

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【四半期会計期間】 第36期第1四半期
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

【会社名】 株式会社ショクブン

【英訳名】 SHOKUBUN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川 瀬 公

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田 野 光 夫

【最寄りの連絡場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田 野 光 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 会計期間 | 第35期 第1四半期 連結累計期間 | | 第36期 第1四半期 連結累計期間 | | 第35期 | |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|-------------------------|
| | 自 至 | 平成22年4月1日 平成22年6月30日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年6月30日 | 自 至 | 平成22年4月1日 平成23年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 2,582,842 | | 2,599,834 | | 10,721,910 |
| 経常利益又は経常損失() | (千円) | 31,626 | | 35,813 | | 146,121 |
| 四半期純利益又は 四半期(当期)純損失() | (千円) | 35,681 | | 12,682 | | 18,058 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 48,016 | | 40,812 | | 2,037 |
| 純資産額 | (千円) | 3,157,080 | | 3,112,719 | | 3,110,508 |
| 総資産額 | (千円) | 10,603,055 | | 10,410,843 | | 10,594,688 |
| 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期(当期)純損失() | (円) | 3.21 | | 1.15 | | 1.63 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 | (円) | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 29.78 | | 29.90 | | 29.36 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第35期第1四半期連結累計期間及び第35期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第36期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第35期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後の福島原発事故の影響により企業活動が停滞し、個人消費も落ち込むなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。食品業界においても、一連の災害、事故による生鮮野菜等の生産地やインフラ設備への直接的な打撃により、生産あるいは製造が困難になり、企業業績に影響を与えています。加えて、放射性物質の拡散によって食品の安全性に対する関心が高まっており、消費者の食品を選択する基準は厳しさを増しております。当社グループはこのような状況下において、お客さまの健康を第一に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けするという経営の基本に立ち返り、お客さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいりました。

結果、売上面では、主力のレギュラーメニューについては、売上高は24億11百万円（前年同四半期比100.8%）になり、特売商品については、売上高が61百万円（前年同四半期比106.1%）になりました。その他、ヘルシーメニュー売上高は1億27百万円（前年同四半期比99.1%）になりました。

また、食材を厳選しつつ、仕入価格の引き下げを行う一方、生産性を向上させるため、生産体制の見直し等の各種施策を継続して行ったことで、製造に係るコストは前年同四半期に比べ1.4%の削減を達成したこともあり、売上原価率は57.1%と前年同四半期に比べ0.8ポイント減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は25億99百万円（前年同四半期比100.7%）、経常利益は35百万円（前年同四半期は31百万円の経常損失）になり、四半期純利益は12百万円（前年同四半期は35百万円の四半期純損失）になりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、8百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|---|------------------------|
| 普通株式 | 11,856,669 | 11,856,669 | 東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数は 1,000株であります。 |
| 計 | 11,856,669 | 11,856,669 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年6月30日 | | 11,856,669 | | 1,148,010 | | 611,806 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 831,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 10,538,000 | 10,538 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 487,669 | | 一単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 11,856,669 | | |
| 総株主の議決権 | | 10,538 | |

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ショクブン | 名古屋市守山区向台 三丁目1807番地 | 831,000 | | 831,000 | 7.01 |
| 計 | | 831,000 | | 831,000 | 7.01 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,555,166 | 1,351,283 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,576 | 18,047 |
| 原材料及び貯蔵品 | 108,215 | 110,069 |
| 繰延税金資産 | 63,539 | 48,649 |
| その他 | 38,662 | 72,263 |
| 貸倒引当金 | 122 | 122 |
| 流動資産合計 | 1,783,037 | 1,600,190 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,606,616 | 1,581,772 |
| 土地 | 5,843,822 | 5,843,822 |
| その他(純額) | 256,996 | 257,965 |
| 有形固定資産合計 | 7,707,435 | 7,683,560 |
| 無形固定資産 | 50,950 | 49,666 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 295,784 | 323,717 |
| 繰延税金資産 | 23,936 | 27,906 |
| その他 | 764,618 | 756,877 |
| 貸倒引当金 | 31,075 | 31,075 |
| 投資その他の資産合計 | 1,053,264 | 1,077,426 |
| 固定資産合計 | 8,811,650 | 8,810,652 |
| 資産合計 | 10,594,688 | 10,410,843 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 418,880 | 393,161 |
| 短期借入金 | 1,055,000 | 1,050,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,168,865 | 1,199,985 |
| 未払法人税等 | 51,901 | 15,175 |
| 賞与引当金 | 102,000 | 51,150 |
| その他 | 626,373 | 714,832 |
| 流動負債合計 | 3,423,021 | 3,424,305 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 229,000 | 212,000 |
| 長期借入金 | 3,675,324 | 3,503,284 |
| 退職給付引当金 | 3,104 | 3,758 |
| 資産除去債務 | 22,221 | 22,341 |
| その他 | 131,508 | 132,434 |
| 固定負債合計 | 4,061,157 | 3,873,818 |
| 負債合計 | 7,484,179 | 7,298,124 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,148,010 | 1,148,010 |
| 資本剰余金 | 1,616,944 | 1,616,944 |
| 利益剰余金 | 865,690 | 839,784 |
| 自己株式 | 501,602 | 501,616 |
| 株主資本合計 | 3,129,042 | 3,103,122 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,533 | 9,596 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,533 | 9,596 |
| 純資産合計 | 3,110,508 | 3,112,719 |
| 負債純資産合計 | 10,594,688 | 10,410,843 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,582,842 | 2,599,834 |
| 売上原価 | 1,496,111 | 1,484,544 |
| 売上総利益 | 1,086,731 | 1,115,289 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,098,348 | 1,060,468 |
| 営業利益又は営業損失() | 11,616 | 54,821 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,923 | 2,460 |
| 受取配当金 | 2,217 | 3,128 |
| 受取手数料 | 2,203 | 2,940 |
| 受取賃貸料 | 1,296 | 1,526 |
| その他 | 574 | 499 |
| 営業外収益合計 | 8,215 | 10,555 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,453 | 28,917 |
| その他 | 772 | 646 |
| 営業外費用合計 | 28,225 | 29,563 |
| 経常利益又は経常損失() | 31,626 | 35,813 |
| 特別利益 | | |
| 賞与引当金戻入額 | 11,909 | - |
| 特別利益合計 | 11,909 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,016 | 52 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 11,404 | - |
| 特別損失合計 | 13,420 | 52 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 33,138 | 35,760 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,733 | 10,963 |
| 法人税等調整額 | 7,189 | 12,114 |
| 法人税等合計 | 2,543 | 23,078 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失() | 35,681 | 12,682 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 35,681 | 12,682 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 35,681 | 12,682 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,334 | 28,130 |
| その他の包括利益合計 | 12,334 | 28,130 |
| 四半期包括利益 | 48,016 | 40,812 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 48,016 | 40,812 |

【追加情報】

| |
|--|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
| 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|---|---|
| 減価償却費 50,516千円 | 減価償却費 53,019千円 |
| のれんの償却額 431千円 | のれんの償却額 364千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 55,590 | 5.0 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 38,588 | 3.5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|--|---|---|
| 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失() | 3円21銭 | 1円15銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益又は四半期純損失() (千円) | 35,681 | 12,682 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益又は 普通株式に係る四半期純損失() (千円) | 35,681 | 12,682 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 11,117,699 | 11,024,995 |

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | | | | | | | | | | |
|---|--|--------|--------------|--------------|---------------|--------------|-----------|-------------------------|----------|--|
| <p>当社は、平成23年7月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法を決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。</p> <p>(1) 自己株式の取得を行う理由 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。</p> <p>(2) 取得の内容</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 取得する株式の種類</td> <td>当社普通株式</td> </tr> <tr> <td>2. 取得する株式の総数</td> <td>100,000株(上限)</td> </tr> <tr> <td>3. 株式の取得価額の総数</td> <td>55,000千円(上限)</td> </tr> <tr> <td>4. 取得する期間</td> <td>平成23年8月1日から平成23年8月31日まで</td> </tr> <tr> <td>5. 取得の方法</td> <td>東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付</td> </tr> </table> <p>(3) その他 上記市場買付による取得の結果、当社普通株式100,000株(取得価額45,400千円)を取得いたしました。</p> | 1. 取得する株式の種類 | 当社普通株式 | 2. 取得する株式の総数 | 100,000株(上限) | 3. 株式の取得価額の総数 | 55,000千円(上限) | 4. 取得する期間 | 平成23年8月1日から平成23年8月31日まで | 5. 取得の方法 | 東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付 |
| 1. 取得する株式の種類 | 当社普通株式 | | | | | | | | | |
| 2. 取得する株式の総数 | 100,000株(上限) | | | | | | | | | |
| 3. 株式の取得価額の総数 | 55,000千円(上限) | | | | | | | | | |
| 4. 取得する期間 | 平成23年8月1日から平成23年8月31日まで | | | | | | | | | |
| 5. 取得の方法 | 東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付 | | | | | | | | | |

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月5日

株式会社ショクブン
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆 行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショクブンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショクブン及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。